

Go!Go!授業づくり！シート

各教科等を合わせた指導用 記入のポイント

指導の形態	学年・人数
①児童・生徒の実態の確認	
各教科等の指導について (特支CS知的の教科)	★まずは実態把握。個別の指導計画、年間指導計画で確認を。 ★単元を構想する上で必要なことは、抜粋して記入してもよいです。
生活面について	
これまで各教科等を合わせた指導で 学んできたこと	
②活用したい資源、教材等	
☐ 校内 (学校行事等)	☐ 季節
☐ 興味・関心	☐ 地域
☐ その他	
★「児童生徒の実際の生活場面に沿った」「必然性のある」活動ができると よいですね。いろいろな資源や教材が活用できますよ。 『各教科等を合わせた指導の活用資源例一覧』も参考に！	
子どもたちがいきいきと取り組めそうな ことがいいなあ…身近なところにある活動の ヒントがありそうだな。	

③単元で身に付けたい力＜自立と社会参加の視点から＞	単元名
★単元全体を通して、めざす児童生徒の姿について簡潔に記述します。 ★子どもたちの実態から、「自立と社会参加」に向けてどんな姿をめざしたいか、という視 点で考えてみましょう。	★子どもたちに分かりやすく、魅 力的な名前がいいですね。
★達成するのは、各教科の目標です。 教科として育てたい力と「自立と社会参加」の視点の両輪で考 えることが大切です。	

④目標として取り扱う教科等でめざす姿	観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
教科等名				
★この単元で特に目標としたい教科だけ取りあげましょう。(3つくらいまで) →知的障がい特別支援学校の各教科のみです！				
★手順 ① ホームページ資料「各教科の段階表」や学習指導要領の内容から、この単元で取り扱うものを選ぶ。 ② ①を「この単元でめざす児童生徒の姿」として表す。(集団としてでも、個に焦点をあてても)				
★「各教科の段階表」や学習指導要領から、該当する指導内容の項目を記入します。				
★教科以外について記入します。 自立活動を合わせる場合は、個々 で目指す姿を記入します。				
お客さんとのやり取りの言葉に意識を向けて取り組んでほしいなあ… 「国語」で育てたい力として、3つの観点で表そう！ 教科の視点で子どもを見ることで、子どもへの支援や言葉がけも変わる 深い学びの姿がイメージできそう！				
お客さんに分かりやすいよう、「いうっしゅいませ」 「ありがとうございました」がはっきりと言えたね！ (国語 A聞くこと・話すこと：エ・オ)				

⑤主体的に活動する姿につながる手立て
★単元を通して、児童生徒が主体的に活動する姿をめざしたいですね。 そのために、どんな手立てがあるとよいでしょう？

⑥単元計画

時間	学習活動 手立て	期待する児童生徒の姿	活動の記録	評価の計画			
				教科			その他
				知	思	主	
	【記入の手順】 生活的、実際の活動を通して、児童生徒の興味・関心を大切にしながら学ぶのが「各教科等を合わせた指導」です。実態に添った、自然な、必然性のある活動の流れが大事です。こんなふうに書いてみると、考えやすいかもしれません。 ①単元の流れを考える。 ・大まかに、学習活動を考え、欄に記入しましょう。 ②期待する児童生徒の姿を考える。 ・それぞれの活動の中で期待する児童生徒の姿を考え、記入しましょう。（集団としても個としてもOK!） ③手立てを考える。 ・合わせて準備物や活動の計画などを記入してもよいですね。 ④時数を考える。 ・[時間]欄に、だいたいの目安の時数を記入しましょう。 【記入に当たって】 ★きまりはありません。ご自分の書きやすい形で、自由に。 ★「期待する児童生徒の姿」については、④や「評価の計画」も見ながら考えてみましょう。 ★計画は変わっていくもの。「活動の記録」の児童の姿から、変更点、追加することなどをどんどん記入しましょう。	★以下のような内容について、記録していきましょう。 ・「期待する児童生徒の姿」に関する児童生徒の様子 ・有効だった手立て、うまくいかなかった手立て ・次回に生かしたい児童生徒の言葉、行動 など	★各時間で評価する教科を記入します。 ★④や「期待する児童生徒の姿」を確認しながら、各教科ごとの観点を考えましょう。				
			Bさんのこんなすてきな姿があったなあ… 今度はどんな言葉をかけようかな？ こんなことに誘ってみようかな？ 今日Aさんはこんなことしてたなあ… じゃあ、次の時間に取り入れてみよう！				
			私は手書きの方が書きやすいなあ。 色ペンで、子どもごとに色分けしよう。				

⑦評価

教科等	児童生徒の姿（教科は3つの観点を意識しながら、文章で記述）
	★各教科等を合わせた指導の評価は、各教科として行うこととなっています。 教科については、各教科の視点で、3つの観点を意識して、ねらいに向かう児童生徒の姿を整理し、記入しましょう。